

巻頭言

企画・部会統括委員会の 活動紹介

日本油化学会 企画・部会統括委員会委員長 根津 亨



本年度から企画・部会統括委員会の委員長を拝命しました。企画・部会統括委員会は本部主催事業の企画と支部・専門部会等の活動を支援する役割を担っていますが、当委員会の存在や役割を知らない方も多いと思います。ここでは巻頭言の紙面を借りて当委員会の活動を紹介したいと思います。

日本油化学会の活動は(1)研究成果の公開と人材教育、(2)評価試験法の標準化と普及、(3)地域における学術の振興と普及、(4)学術専門分野の活性化から成ります。当委員会では人材教育の一貫としてフレッシュマンセミナーと実践講座の企画、実行をしています。また、学術専門分野の活性化については専門部会がそれぞれのリーダーの下で独自に活動していますが、当委員会は各支部、専門部会の活動が円滑に進むように、それぞれの活動内容や計画、運営状況の情報交換を行っています。以下に本部企画セミナーと支部・専門部会の活動支援について、最近の活動状況を紹介します。

フレッシュマンセミナーは企業の入社1～3年目の若手研究員を対象とした教育セミナーです。多くの会員、企業の皆様から新人教育などに利用して頂いており、フレッシュマンセミナーで配布する教本は、当該分野を網羅した教科書として使いやすいものであると考えています。フレッシュマンセミナーは今後も継続すると共に、時代に合わせた教本の改訂を進めていきます。油脂、脂質の教本は2020年度に改訂版に変わります。界面科学の教本は2022年度改訂に向けて作業を開始することを確認しています。

実践講座は企業である程度経験を積んだ研究員が基礎を見直し、先端的な知識を習得する場として企画しています。油脂・脂質、界面科学ともに大学の先生による基礎講演と企業の応用研究例を紹介し、マンネリ化しない工夫をしています。ある程度の知識と経験を積んだう

で専門的な講演を聴講することは、知識を整理し次の段階にステップアップする良い機会になると考えています。現状はフレッシュマンセミナーに比べて認知度が低いことが悩みですが、工夫しながら継続し油化学の人材教育に貢献していきます。

日本油化学会の専門部会はオレオマテリアル部会、界面科学部会、洗浄・洗剤部会、ライフサイエンス・産業技術部会、オレオナノサイエンス部会の5部会があります。当委員会は年2回の全体会議を開催し、各支部、専門部会の活動や運営状況の情報交換を行っています。また、年会では各部会がシンポジウムを開催しますが、当委員会は専門部会の活動活性化と年会シンポジウムのレベルアップを目的とした助成を行っています。また、学術専門分野を活性化するためには、専門部会を適宜設立、廃止、統合することも選択肢の一つであると考えています。2016年にはオレオライフサイエンス部会と油脂産業技術部会が統合しライフサイエンス・産業技術部会が誕生しました。油脂・脂質のフレッシュマンセミナーの企画・実行や教本改訂を主導するなど、活動が活性化しています。また、本年はオレオナノサイエンス部会が武蔵野大学薬学部の大塚先生をリーダーに迎えて活動を再開しました。ナノテクノロジーをキーワードに、薬学と油化学の業際分野に活動が広がることが期待されています。

日本油化学会の持つ多様性は、業際分野に新しい学問分野や応用分野を生み出す可能性を秘めています。オレオナノサイエンス部会の活動再開は、その良い例だと思います。微力ではありますが、企画・部会統括員会として会員一人ひとりが多様性を実感し、自身の研究活動に活かせるようサポートできればと考えています。

(株式会社 ADEKA)